

エコパワーとの意見交換行われる（阿武隈山地風力発電）

先にいわき市に提出した田人・三大明神風力発電の要望書に対する回答（別紙）が出されました。

2016年10月26日には18時30分より、小川町商工会館会議室において福島県登山ガイド協会主催による、阿武隈山地風力発電仮事事業者のエコパワー（株）との意見交換会が開催され、石城山岳会からは秋葉と狩野が参加しました。

事業計画概要

- ① 業主体者：エコ・パワー（株）根本通商（株）、マルトグループホールディングス（株）、東北自然エネルギー（株）、丸紅（株）で合同会社を設立予定
- ② 業規模：最大100,000kW（2,000kW級×50基）を想定
- ③ 業候補地：阿武隈山地尾根部（いわき市、広野町、榎葉町） * 神楽山～十文字～屹兔屋山
～二ツ箭山、屹兔屋山～いわき市と広野町・榎葉町の境界尾根

スケジュール

〈平成28年度〉

- ・ 環境影響評価方法書手続き（方法書の縦覧、説明会）
- ・ 地元との意見交換
- ・ 調査設計（風況解析、環境調査、基本設計等）
- ・ 本事業者公募

〈平成29年度〉内容略 〈平成30年度〉内容略 平成31年度以降工事、工事期間約3年程度

業者に都合の良いことだけ

その他に福島復興風力発電（株）が200,000kW（25,000kW級×80基）が葛尾村～川内村の尾根上に計画されています。

マリインタワーの約2倍、福島県で一番高い郡山ビッグアイと同程度の建造物が合計130基が稜線上に建設の予定です。

三大明神風力発電17基、田人風力発電6基の計画も進められています。いわき市の稜線は風車だらけになってしまい景観や自然環境に大きな影響を与えます。

今回は非公式の会で、業者に都合の良い説明のみでした。今後、「方法書の縦覧、説明会、地元との意見交換会」に合わせて問題点を広めていかなければなりません。

尚、12月のいわき市議会でこれらの問題を会員である狩野議員に質問して頂く予定です。

（文責：秋葉）